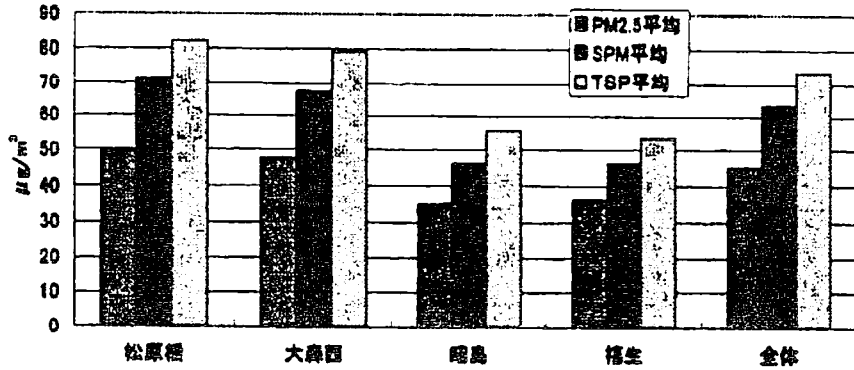


表6

表V-36 PM2.5等の平均個人曝露量の地区別集計

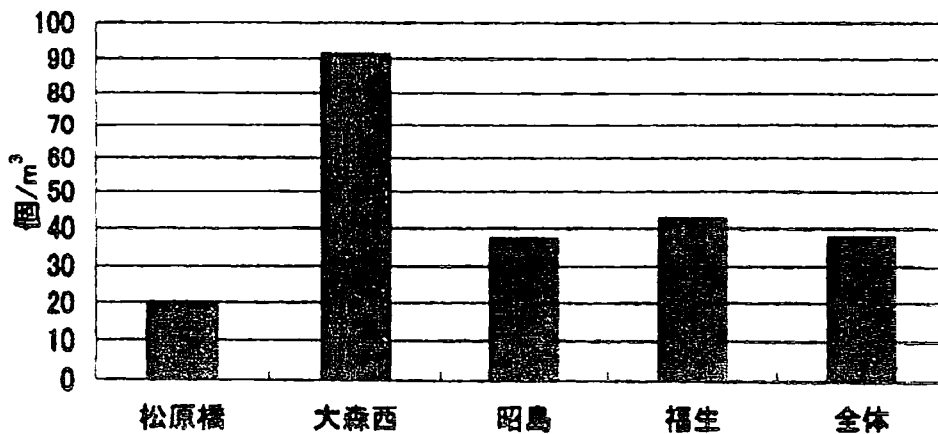
地区名	測定数	PM2.5 平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	SPM平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	TSP平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	*PM2.5/ SPM平均	EC 測定数	EC平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	*EC/ PM2.5 平均(%)	花粉 測定数	合計花粉 数平均 (個/ m^3)
松原橋	341	49.34	71.39	81.85	0.68	28	3.04	8.93	313	20.07
大森西	108	47.46	67.53	79.33	0.66	9	1.77	4.54	99	91.23
昭島	102	35.13	46.07	55.61	0.75	7	3.32	8.8	95	37.38
福生	84	36.05	46.01	53.43	0.77	5	1.67	9.25	79	42.78
全体	635	44.98	63.31	73.45	0.70	49	2.71	8.14	586	37.96

*個人単位の比の値の地区平均



図V-35 PM2.5等の平均個人曝露量の地区別集計

図11



図V-36 花粉の平均個人曝露量の地区別集計

図12

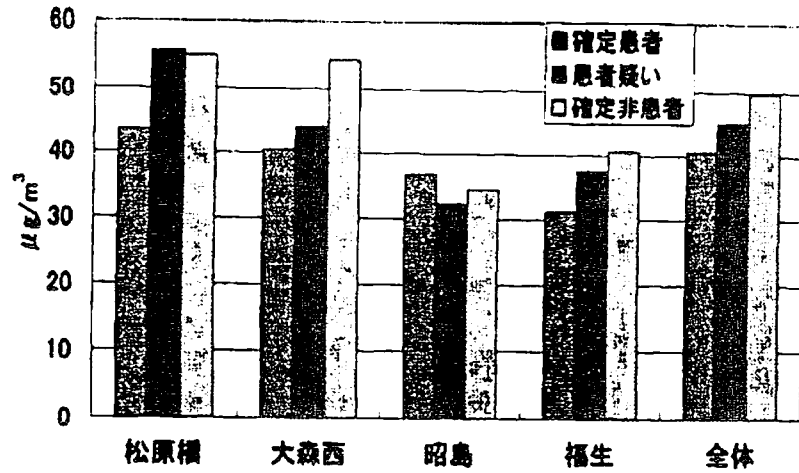


図 V-40 PM2.5の平均個人曝露量の地区別集計 (診断別)

図13

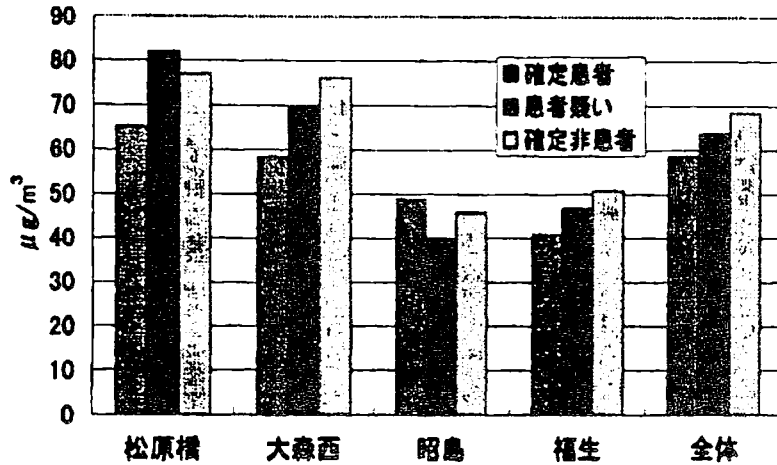


図 V-41 SPMの平均個人曝露量の地区別集計 (診断別)

図14

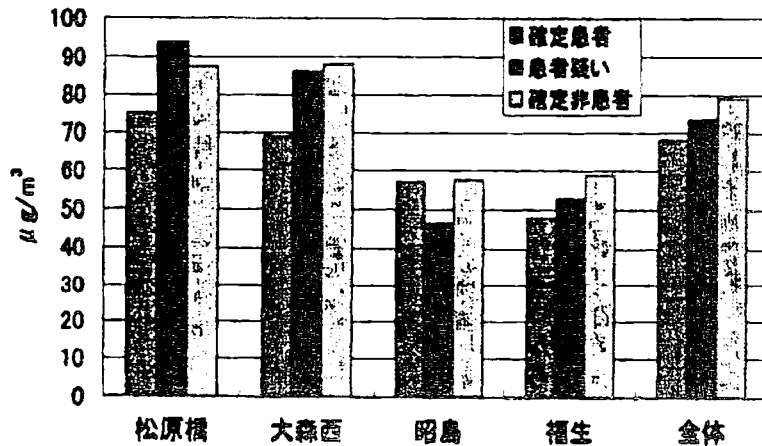


図 V-42 TSPの平均個人曝露量の地区別集計 (診断別)

図15

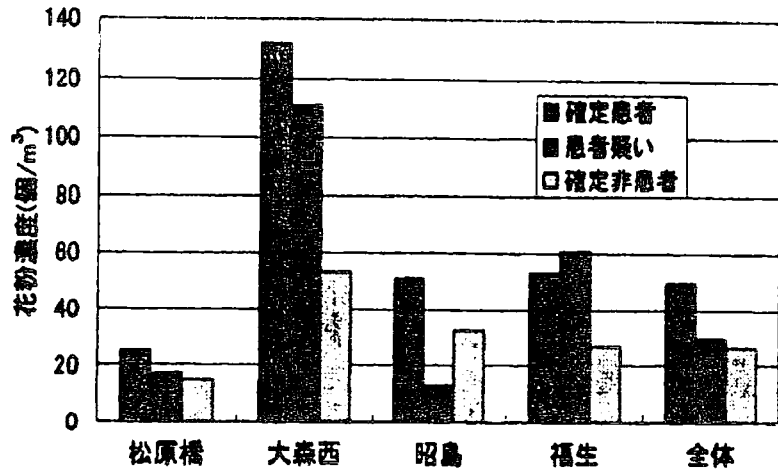


図 V-43 花粉の平均個人曝露量の地区別集計 (診断別)

図16

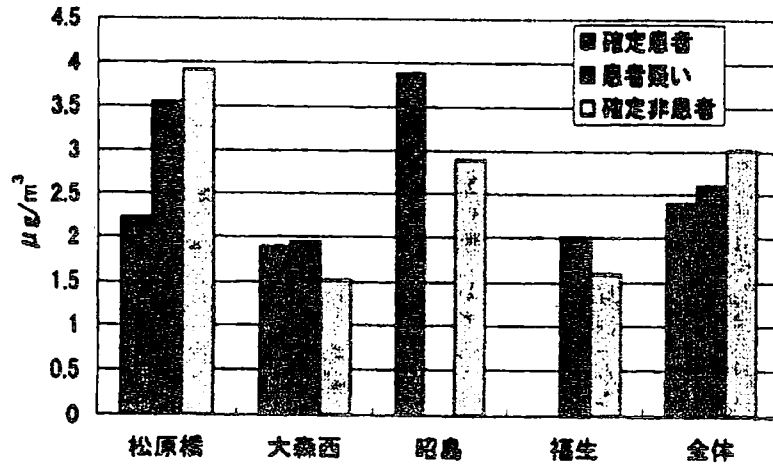


図 V-44 ECの平均個人曝露量の地区別集計 (診断別)

図17

表7 花粉症と個人曝露量測定値との関係

1. 全体の解析

(1) 花粉合計(3日間換算)
(スギ・ヒノキ花粉の合計観測値を3日間(4,320分)値に換算)

【各変数の1単位当たりの推定オッズ比と信頼区間】

変数名	オッズ比	95%信頼区間 (下限, 上限)
1) PM2.5	0.486	(0.314, 0.752)
2) 花粉合計	3.097	(2.004, 4.788)
3) 年齢	1.448	(0.922, 2.275)
4) タバコ	0.840	(0.483, 1.462)
5) 実の母のアレルギー	2.221	(1.331, 3.704)
6) 実の父のアレルギー	1.561	(0.891, 2.735)

変数名	オッズ比	95%信頼区間 (下限, 上限)
1) SPM	0.502	(0.323, 0.781)
2) 花粉合計	3.306	(2.132, 5.126)
3) 年齢	1.405	(0.893, 2.207)
4) タバコ	0.874	(0.501, 1.525)
5) 実の母のアレルギー	2.237	(1.342, 3.729)
6) 実の父のアレルギー	1.535	(0.877, 2.686)

変数名	オッズ比	95%信頼区間 (下限, 上限)
1) TSP	0.554	(0.356, 0.861)
2) 花粉合計	3.361	(2.164, 5.219)
3) 年齢	1.400	(0.893, 2.195)
4) タバコ	0.839	(0.484, 1.457)
5) 実の母のアレルギー	2.211	(1.329, 3.680)
6) 実の父のアレルギー	1.586	(0.907, 2.773)

変数名	オッズ比	95%信頼区間 (下限, 上限)
1) PM2.5 / SPM	0.840	(0.546, 1.292)
2) 花粉合計	3.058	(1.989, 4.700)
3) 年齢	1.426	(0.913, 2.227)
4) タバコ	0.767	(0.444, 1.327)
5) 実の母のアレルギー	2.222	(1.339, 3.686)
6) 実の父のアレルギー	1.522	(0.873, 2.652)

＜表の見方＞

- ・ 1)～6)のうち、太字が観察の対象となる変数、その他が調整変数(説明変数)である(以下、同様)。
- ・ それぞれの変数間の相互影響をロジスティックモデルにより数学的に排除し、得られた調整済みの推定オッズ比と95%信頼区間を示した。
- ・ 95%信頼区間の下限と上限の間に1が入らない場合、有意水準5%で統計的に有意な結果と判断できる。